

厚生労働行政推進調査事業費補助金
政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業）
分担研究報告書（令和3年度）

戦没者遺骨の身元特定に係るDNA 鑑定精度向上に関する研究

研究分担者 松末 綾 福岡大学医学部法医学教室 講師

研究要旨：本研究では、厚生労働省の戦没者遺骨のDNA 鑑定事業の効率的な遂行のために、「戦没者遺骨鑑定の標準プロトコルの作成」、「多数の遺骨・ご遺族から該当する血縁者をスクリーニングする専用ソフトウェアの開発」を行う。

A. 研究目的

南方で収集された遺骨は保存状態が悪くDNAの断片化が進み鑑定が難しいケースも多い。本研究では、遺骨からのDNA抽出方法の検討を行い、より多くのDNA型を検出することを目的とした。

B. 研究方法

骨片を切り出し洗浄後、細骨片を作成した。1日半かけて脱灰後、溶解液とプロテインナーゼKを加え37°Cで溶解した。溶解液をQiagenのQIAquick PCR PurificationKitを用い、プロトコルを一部変更して抽出した。

（倫理面への配慮）

本研究は、福岡大学の医に関する倫理委員会の承認を得ている。

C. 研究結果

この抽出法により、北方で収集された遺骨は良好なDNA型が検出できた。南方で収集された遺骨は、全てのローカスを検出できた遺骨と、ほとんど検出できない遺骨が

あった。

D. 考察

脱灰の時間や抽出方法など、さらなる条件の検討が必要であると考えられた。

E. 結論

遺骨からのDNA抽出の方法を検討したが、断片化が進んだ検体からはDNA型が検出されない場合もあった。より効率的な抽出法の検討が必要であると考えられた。

F. 健康危険情報

該当無し

G. 研究発表

1. 論文発表

該当無し

2. 学会発表

該当無し

H. 知的財産権の出願・登録状況
該当無し